

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会事務局	中野 伸宏	63-7892 (文化生涯学習室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源

1. 施策の基本方針

Plan

- ・文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- ・地域で育まれた文化遺産等の地域資源を保存、活用し、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- ・文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- ・貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・文化財の多角的な活用を十分に検討した事業展開を図り、新たな文化財指定や、適切な指定文化財の維持管理を行い、地域のシンボルとしての活用を図ります。
- ・国史跡美旗古墳群周辺市有地の適切な管理を行い、雇用の創出を図ります。
- ・地域づくり組織と連携し、地域文化財としての活用を図ります。
- ・市史編纂については、長期的な計画に沿って進めます。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・文化財に関連する事業については、多くは国、県の補助金を活用して実施していますが、補助事業の採択率、また県補助金の補助率が低くなり、市財政の負担が重くなっています。
- ・既存の文化財施設については、積極的な利活用が求められています。
- ・市史編纂事業については、財源確保が難しく、刊行年度の目標が繰り延べられています。

<行政評価委員会からの意見>

- ・総合的な施策展開の検討が急務である。
- ・藤堂家邸夏見廃寺等のPR等が必要である。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値	2009	2010	2011	2012	2015	進捗率
		(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H27)	
名張の歴史を知っている市民の割合(歴史テスト認知率) (%)	目標	-	-	-	-	42.0	43.0	
	成果	38.4	32.6	33.6	32.9	32.0		0%
夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	-	3,700	6,700	
	成果	497	797	907	1,157	1,516		16%
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合 (%)	目標	-	-	-	-	72.0	73.0	
	成果	71.0	60.2	70.0	71.0	71.0		0%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・埋蔵文化財については、緊急雇用事業により資料のデータベース化に取り組みました。これにより、文化遺産としての活用が図れるようになります。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・総合的な施策展開は、財源確保の検討も踏まえると長期的な展開にならざるを得ませんが、民間助成などを活用しゼロ予算事業として、小規模なイベント等に取り組みました。
- ・文化財施設の活用については、市民団体やそれぞれの地域づくり組織と連携して事業展開を図っています。

地域等との連携、協働に向けた取組 **D o**

・文化財施設については、それぞれの地域づくり組織と連携をし、藤堂家邸については隠街道市で、夏見廃寺は桃の里づくりで、地域と連携をして広報活動を図りました。
 また、美旗古墳群についても、地域づくり組織と連携し広報を行いました。
 ・それぞれの地域における文化遺産については、地域ビジョンにも取り上げられるとともに、市としても公民館講座等に積極的に協力、連携し、情報発信、普及啓発に努めました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 6 事業) **D o** **C h e c k**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		担当室による評価			部局による評価			
			事業費 (単位：千円)		事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2011 (H23)	2012 (H24)					
1005	市史編さん事業	総務室	2,929	706	B	検討している、今後可能性がある	継続(拡大)	B	A
1167	埋蔵文化財発掘調査事業	文化生涯学習室	0	0	B	検討している、今後可能性がある	H24完了	B	B
1175	市史史料整理事業 (緊急雇用創出事業)	総務室	1,654	2,674	B	該当しない	H24完了	B	B
1216	文化財保護活動事業 (緊急雇用創出事業)	文化生涯学習室	0	3,222	B	該当しない	H24完了	B	B
4055	赤目の溪谷復旧事業	文化生涯学習室	0	2,100	B	該当しない	H25完了予定	-	-
5102	文化財保護費	文化生涯学習室	1,639	3,064	B	実践している	継続(改善)	A	A
合計(単位：千円)			6,222	11,766					
小計(うち、一般会計分)			6,222	11,766					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **C h e c k**

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備や市史編纂事業など、規模が大きな事業の推進にあたって、財源、人的な確保が困難な状況から、計画が先送りの状況になっていますが、文化財施設の活用については、新たな資源を加えて、さらなる活用を図りました。 ・文化財の指定については、所有者の同意が得られにくく、指定件数の増加には至っていませんが、国の登録文化財は市民団体の協力を得て、まちなかの初瀬街道沿いを中心として着実に登録を増やしています。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **A c t i o n**

<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョンに掲げる文化遺産の活用については、十分なサポートを行います。 ・文化財の普及啓発活動の一環で、桜ヶ丘に所在します郷土資料室につきまして、移転整備も含めた利活用の検討を進めます。 ・文化財保護は、専門的な知識を要する人材が必要であり、事業推進と併せて配慮しながら取組を進めます。 ・市史編纂については、専門的人材を投入することを含めて事業を推進します。

7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他(意見)
文化資源の保全、活用の具体的な方策を明らかにし、市民が身近に触れ合えるような環境づくりや地域づくりに取り組むべきである。